

お詫び 札幌圏大雪の影響により、2月5～6日は多くの列車に運休・遅延が発生、2月7日には札幌圏の列車を全日運休させることとなり、ご利用のお客様にご迷惑をおかけしました。お詫び申し上げます。

「こんなに晴れているのにどうして?」「降雪の備えをしていないの?」という疑問をお客様から多く頂戴しますので、鉄道線路における除雪の特殊性や、2月8日運転再開に向けた弊社の取組み等を交え、ご回答申し上げます。

◎人力除雪は一部なのでしょう? 除雪用機械をどんどん走らせれば済むんじゃないの? なにのんびりやってるの?

- ・2月6日は、列車運行中に風雪が急激に強まり、吹き溜まりが相次いで発生したため、途中で運行不能となった列車が多くありました。
- ・ご乗車のお客様には駅でお降りいただきましたが、列車は進めなくなったまま複数の駅に留置されました。



【写真①】厚別駅留置車両 (2/6)

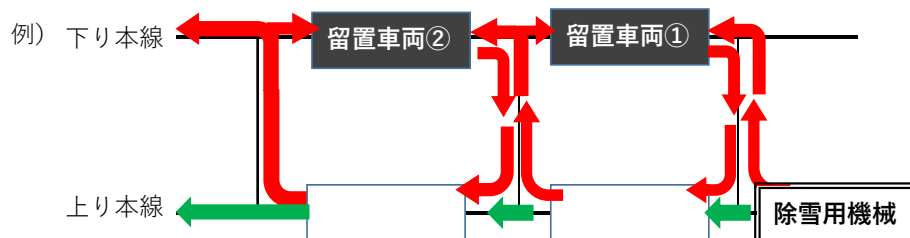


【写真②】苗穂駅留置車両 (2/6)



【写真③】北広島駅での除雪作業

- ・【写真①②】のように留置車両は雪に埋まっています。
- ・運転再開のため、一編成ずつ車両基地に動かして、列車が通常走行する「本線」を開ける作業を行います。
- ・車両手前まで機械除雪を行い、埋まった列車の付近は【写真③】のように手で掘り出すしかありません。
- ・車両移動後、残った雪を機械で除けながら次の留置列車に向かい、同様の手順で列車を動かしていきます。
- ・除雪に時間がかかり、また、運転再開の見通しがなかなか立てられないのはこのような事情によります。
- ・除雪用機械の過負荷による突発故障や高架駅における排雪作業など、作業を遅らせる要因も様々あります。



今回は17駅に29編成が留まりました。
上り本線のように、留置車両がいなければ、除雪用機械は緑矢印の通り真っ直ぐ進めます。しかし下り本線のように留置車両がいれば、赤矢印の経路を辿り①②車両前後の除雪をするのです。

◎「手稲～札幌～新千歳空港間を優先して」作業を進めているとのこと。なぜその区間か? 不公平ではないか?

- ・札幌圏で使用する主な車両の基地が手稲（稲穂）にあるため、手稲～札幌の開通を最優先で行います。
- ・札幌～南千歳は道南・道東など各方面へ向かう列車が重なって運行する区間であり、影響が多方面に及ぶことになるため、復旧作業を優先的に行う必要があると考えています。
- ・除雪に使用する機械、人力、運用する車両には限りがあるため、上記の理由から、優先順位を付けて作業にあたることとしました。お客様にはご不便をおかけしますが、ご理解賜りますようお願いいたします。

◎こんなに度々運休されたのではたまらない。ＪＲ北海道は降雪対策を全く講じていないのか?

- ・線路の切替えができなくなると、列車の運転に大きな影響を及ぼします。
- ・そのため、線路の切替え部分に融雪器を設置したり、降雪が多く見込まれる日は切替え頻度を落とすために到着・発車番線を変更したり、列車の運行本数を減らすなどの工夫をしています。
- ・今冬期は例年以上の降雪量となり、対応に苦慮しています。お客様にはご迷惑をおかけして申し訳ありません。